

cEdgeアップグレードのトラブルシューティング"SDWANインストーラファイルシステムのスペースが不十分"

内容

[概要](#)

[問題](#)

[環境](#)

[解決方法](#)

[確認](#)

[変更前](#)

[変更後](#)

[原因](#)

[関連コンテンツ](#)

概要

このドキュメントでは、config-register 0x8000および0x0040フラグによってブロックされるCiscoエッジルータ(ESR)のアップグレードアクティビティに関連する問題について説明します。

問題

Ciscoエッジルータデバイスでは、ソフトウェアアップグレードアクティビティが次のいずれかのエラーで失敗する可能性があります。

- デバイスアクションソフトウェアのインストールの実行
- ソフトウェアイメージのインストール
- デバイス<system-ip>の現在のブートパーティションを判別できません

```
SDWAN Installer Space Check: Not enough space in SDWAN installer filesystem. SDWAN installer filesystem
```

2番目のログでは、必要な容量の値 (10055522キロバイト) がサポートされているinstallerfsサイズよりもはるかに大きいため、この状況では無効です。

環境

- プラットフォーム：Ciscoエッジルータ(cEdge)
- モード：コントローラモード(SD-WAN)
- シナリオ：ソフトウェアのアップグレードまたはインストールのワークフロー
- 条件：コンフィギュレーションレジスタに0x8000または0x0040が含まれている

解決方法

- メンテナンス時間帯をスケジュールし、変更の承認を得る。
- コンソールアクセスがルータで使えることを確認します。
- 現在稼働中のコンフィギュレーションをバックアップします。
- コンフィギュレーションレジスタ0x8000または0x0040が含まれている間に行われた設定変更は、リロード後は保持されないことに注意してください。

 注意：コンフィギュレーションレジスタの変更後にルータをリロードすると、設定が失われ、ファブリック接続が失われる可能性があります。コンフィギュレーションレジスタに0x8000または0x0040フラグが含まれている間に行われた設定の変更は、すべてリロード時に失われます。リロード後にルータがファブリックへの接続に失敗し、設定を修正するためにコンソールアクセスが必要になる場合があります。この手順を実行する前に、コンソールアクセスが使用可能であることを確認してください。

コンフィギュレーションレジスタを0x2102や0x3922などの標準値に変更します。これにより、ルータが正常にロードされます。

```
configure-terminal
config-register 0x2102
commit
```



注意：コンフィギュレーションレジスタを変更した後、ルータのリロードが必要です。リロード時に、ルータは新しいコンフィギュレーションレジスタ値でブートします。

確認

変更前

show version | include Configurationコマンドを実行して、現在のコンフィギュレーションレジスタの値を確認します。

影響を受ける値の例を次に示します。

```
#sh ver | i Configuration
Configuration register is 0x8000
```

および

```
#sh ver | i Configuration
Configuration register is 0x2142
```

変更後

1. メンテナンスウィンドウ中にルータをリロードします。
2. ルータのブート後、コンフィギュレーションレジスタの値を確認します。

```
show version | include Configuration
```

3. 出力が期待値 (0x2102など) を示していることを確認します。
4. ソフトウェアのアップグレードを再試行し、次のいずれかのエラーが表示された状態で操作が失敗しないことを確認します。
 - デバイス上の現在のブートパーティションを特定できません
 - SDWANインストーラスペースチェック : SDWANインストーラファイルシステムに十分な領域がありません

原因

この問題は、config-registerフラグ (0x8000または0x0040) のいずれかが設定されている場合に発生します。

コンフィギュレーションレジスタのフラグ0x8000および0x0040により、ルータはNVRAMに格納されているスタートアップコンフィギュレーションを無視します。

- 0x8000：診断メッセージを有効にし、ルータがNVRAMの内容を無視するようにします。
- 0x0040：システムソフトウェアにNVRAMの内容を無視させる。

これらのフラグはスタンドアロンモード用に設計されていますが、コントローラモードで有効にすると悪影響を及ぼします。

関連コンテンツ

- [すべてのルータにおけるコンフィギュレーション レジスタの使用状況について](#)
- [Cisco Bug ID CSCww02836](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。